

【勝山高等学校蒜山校地グランドデザイン(スクール・ポリシー)】

《蒜山校地に期待される社会的役割》 【スクール・ミッション】	一人一人の個性を重視した教育を行う連携型中高一貫校として、多様な進路希望者に対応するとともに、地域等との連携や地域の豊かな自然の活用により、主体性や協調性等を高める教育活動を通して、社会的・職業的に自立し、社会の発展に貢献する人材の育成を目指す。
-----------------------------------	---

《求める生徒像》 【アドミッション・ポリシー】	○ 住んでいる地域を愛し、将来にわたりその地域に貢献したいという気持ちを持つ生徒 ○ 基本的な生活習慣を身につけ、基礎学力を伸ばしたいという意志を持つ生徒 ○ 地域での活動を通して、社会に関わりたいという気持ちを持つ生徒
----------------------------	--

生徒の実態	内外の環境分析
・穏やかな性格の生徒が多く、全般的に落ち着いた学校生活を送っている。 ・時と場が与えられれば、しっかりと自己主張や親和性を発揮することができる。 ・アルバイト等を通じて、基本的な社会性を身に付けている生徒が多い。 ・義務教育段階までで、様々な理由から、潜在的な能力が十分に発揮できていない生徒が存在する。 ・人間関係形成能力に苦手意識を持ち、閉鎖的な小集団を構築しやすい面もある。	・小規模校で教員も少なく、一人一人の業務も多い。 ・地元の蒜山中学校の生徒数減により志願者が減っている。 ・岡山県、真庭市から存続を期待されている。 ・真庭SDGsパートナーとして持続発展可能な社会の実現のために活動している。 ・地域や同窓会から蒜山地域になくってはならない学校と期待されている。

《 資質・能力の3つの柱=生きる力 》
 学びに向かう力・人間性 / 知識・技能 / 思考力・判断力・表現力

学校教育目標 《育てたい生徒像》 【グラデュエーション・ポリシー】	持続可能な社会の主体的構成者として、自ら学び、考え、行動することができる人物。
令和7年度重点目標	○ 学校行事・「総合的な探究の時間」・学校設定教科「CP(Community building Project)」などにおいて、生徒の主体的な活動を充実させ、持続発展可能な社会を実現できる資質・能力を持った生徒の育成を図る。 ○ 小規模校の特性を活かし、個に応じた指導と多様な評価を充実させ、幅広い視野を持った生徒の育成を図る。 ○ 論理的な思考能力やコミュニケーション能力を伸ばさせ、特別活動や地域での活動、国際交流などの面で、多様な他者と充実した協働体制が構築できる生徒の育成を図る。 ○ 蒜山地域を基盤に真庭地域での多様な志望に対応することで、地域を支え地域になくってはならない学校として厚い信頼のもと、本校地の魅力づくりを進めるとともに、教育活動を積極的に発信し、志願者の増加に努める。

目標実現に向けた取組の方針
【カリキュラム・ポリシー】

